



クリエートメディック株式会社

2026年 第1四半期

連結決算報告

クリエートメディック株式会社

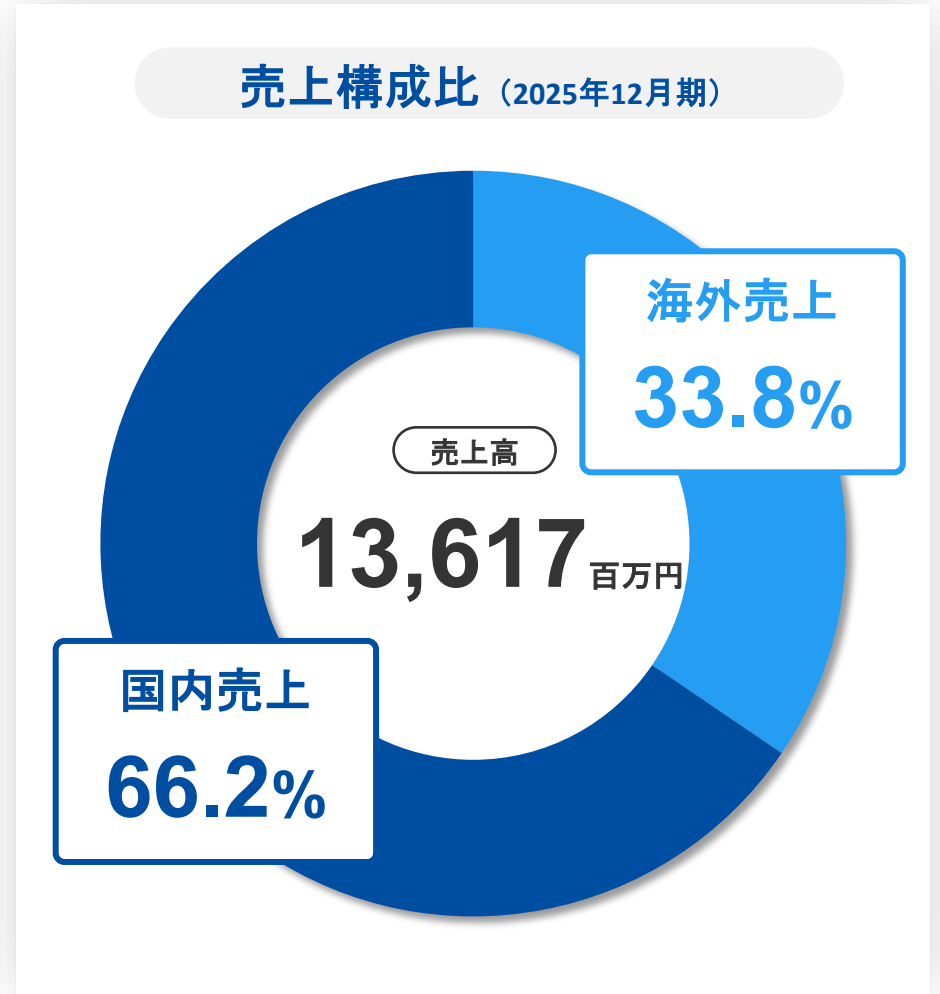
証券コード 5187



クリエートメディックとは？

当社はカテーテルの開発・製造・販売を行うグローバル医療機器メーカー
 3つの海外グループ会社を保有し、海外売上高が全体の**33.8%**を占める

会社名	クリエートメディック株式会社
所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番地15 新横浜センタービル8階
設立	1974年
代表取締役	今澤 修
従業員数 (連結)	1,010名 (2025年12月末時点)
グループ 会社	    <p>大連クリエート医療製品有限公司 クリエート国際貿易(大連)有限公司 ベトナムクリエートメディック有限会社 九州クリエートメディック株式会社</p>
	<p>本年4月7日、インド販売会社を設立 会社名：CREATE MEDIC INDIA PVT.LTD. 今後は、中期の重点施策「海外事業の強化」に基づきインドの市場開拓を進めてまいります</p>



泌尿器、消化器を中心に生体適合性の高いシリコンカテーテルを製造・開発

当社の強み



100種類以上の 製品ラインナップ

- 患者様の体型に合わせた多様なサイズ・仕様
- 安定供給を実現するフレキシブルな生産体制



国内外生産拠点での 徹底した品質管理

- 国内外全ての生産拠点でISO13485を認証取得
- クリーンルーム環境での製造



市場ニーズに対して 機動的な製品開発

- 業界初消毒液付キット製品
- 女性開発者によるデザイン性が特徴な製品など医療従事者・患者様のニーズを捉えた製品開発を機動的に実施

- 売上高は自社販売を中心に好調な推移
- 一方、営業利益は売上原価の上昇および販管費も中計の費用発生により減益

単位：百万円	2025 Q1	2026 Q1	増減額	増減率
売上高	3,220	3,364	+144	+4.5%
売上原価	1,804	1,981	+176	+9.8%
売上総利益	1,415	1,383	△32	△2.3%
販売費及び一般管理費	1,194	1,242	+48	+4.1%
営業利益	221	140	△81	△36.6%
経常利益	215	169	△46	△21.3%
四半期純利益	209	153	△55	△26.7%

売上

- 自社販売は、泌尿器の新製品が好調に推移
- 海外販売のうち、輸出販売は泌尿器系製品が増加、一方、消化器系製品がMDR（欧州医療機器規則）対応の一時的な影響により僅かに減少

売上原価、売上総利益

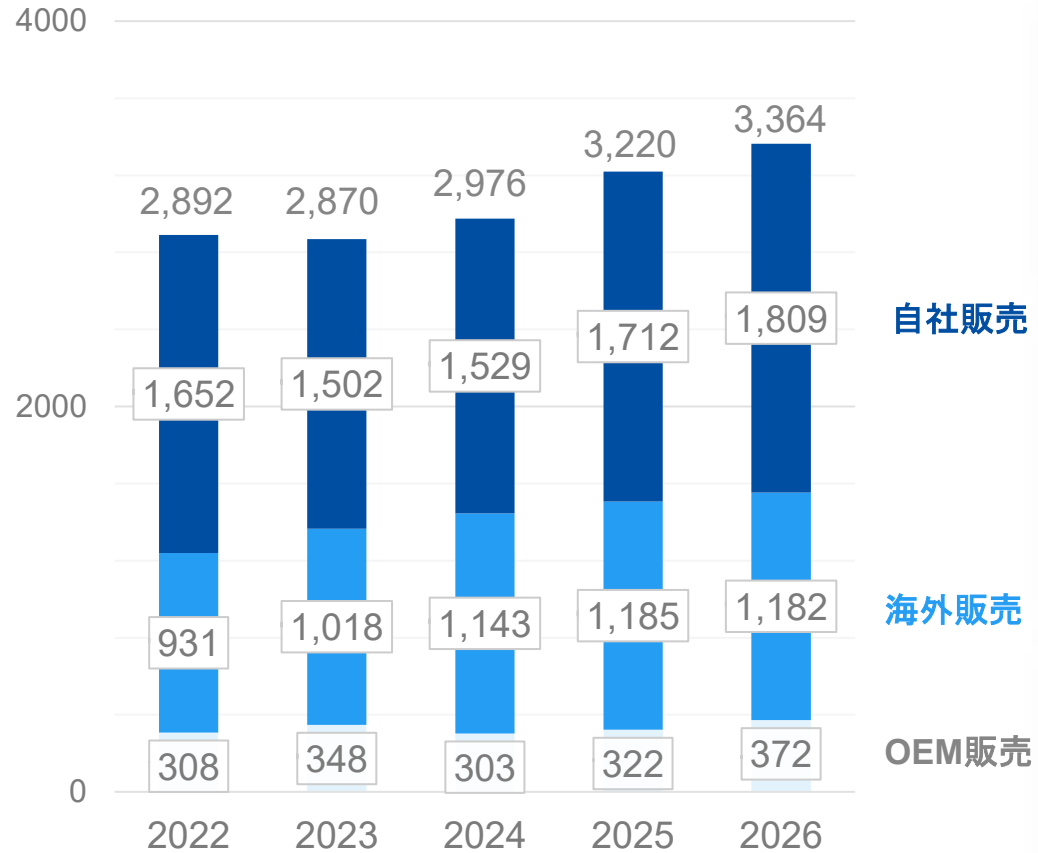
- 売上原価は、海外仕入品が為替影響を受け、さらに輸出販売におけるセールスマックスの影響により原価率が上昇（+2.9%^{※1}）

販売費及び一般管理費

- 販管費は新規事業及び海外戦略の投資費用が発生、その他情報システムや物流関係の費用前倒しにより増加

- 自社販売の泌尿器系の新製品を中心に好調な推移
海外販売における中国集中購買の影響は3月時点では限定的

単位：百万円



自社販売

- 泌尿器系の新製品「クリニー抗菌フォーリーカテーテル」が医療機関より評価され好調

海外販売

- 輸出販売は欧州向け泌尿器系製品が好調、一方、消化器系製品はMDR対応の一時的な影響により減少
- 中国販売における集中購買の影響は3月時点では限定的

OEM販売

- 血管系製品が好調のため増加

2026年 第1四半期 B/S（貸借対照表）

単位：百万円	25.12期末	26.3期末	増減
流動資産	14,222	13,591	△630
現預金	5,830	5,431	△399
売掛金・電子記録債権等	3,333	3,161	△171
製品・原材料等	4,487	4,436	△51
固定資産	5,920	6,326	+406
有形固定資産	4,709	4,809	+99
無形固定資産	418	395	△23
投資その他の資産	792	1,122	+330
資産合計	20,143	19,918	△224
流動負債	2,023	1,698	△325
買掛金・電子記録債務等	700	395	△304
固定負債	1,787	1,959	+172
轉換社債型新株予約権付社債	749	749	—
その他固定負債	1,037	1,210	+172
負債合計	3,810	3,657	△153
純資産	16,332	16,260	△71
負債純資産	20,143	19,918	△224

資産

- ・ 現預金は、購買先等の決済期日の短縮、配当金支払および自己株式取得による減少
- ・ 売掛金等は、前期末の売上債権回収による減少

負債

- ・ 買掛金等は、購買先等の決済期日の短縮による減少

純資産

- ・ 四半期純利益 +153百万円
- ・ 期末配当金支払 △234百万円
- ・ 自己株式の取得 △245百万円
- ・ 為替換算調整勘定 +244百万円

売上は前年比+2.5%の13,960百万円、営業利益は+5.5%の1,060百万円を計画

単位：百万円	2025実績	2026計画	増減額	増減率
売上高	13,617	13,960	+342	+2.5%
売上原価	7,623	7,747	+124	+1.6%
売上総利益	5,993	6,212	+218	+3.6%
販売費及び一般管理費	4,988	5,152	+163	+3.3%
営業利益	1,005	1,060	+54	+5.5%
経常利益	988	1,070	+81	+8.3%
当期純利益	713	750	+36	+5.1%

<p>自社販売</p>	<p>新製品3品目の発売を予定しており、従来品の拡販とあわせて販売を強化する計画</p>
<p>海外販売</p>	<p>輸出販売は欧州のMDR(欧州医療機器規則)の切替が進み堅調な推移と予測 一方、中国販売は集中購買が国家レベルに拡大し、今後の対策を進める インドは販売会社による営業活動を開始</p>
<p>OEM販売</p>	<p>2024年発売の新製品が好調を維持するため伸長する見込み</p>



クリエートメディック株式会社

Appendix (補編)



企業理念

からだにやさしい未来の医療を築く

10年後の
ありたい姿

医療を通じて大きく社会に
貢献できる企業でありたい

ブランド力と知名度の高い
企業でありたい

従業員がやりがいをもって
生き活きと働ける企業でありたい

10年後のありたい姿の実現

新たな事業の追求と深化

インド・東南アジア事業の強化・推進

基盤の構築、成長領域への投資

国内事業製品ポートフォリオ再構築、利益率改善、
中国事業の拡大

フェーズⅢ

2031年~2034年

フェーズⅡ

2028年~2030年

フェーズⅠ

2025年-2027年

2025年12月期実績

営業利益 **10**億円 営業利益率 **7.4%**

2034年経営目標

営業利益 **30**億円

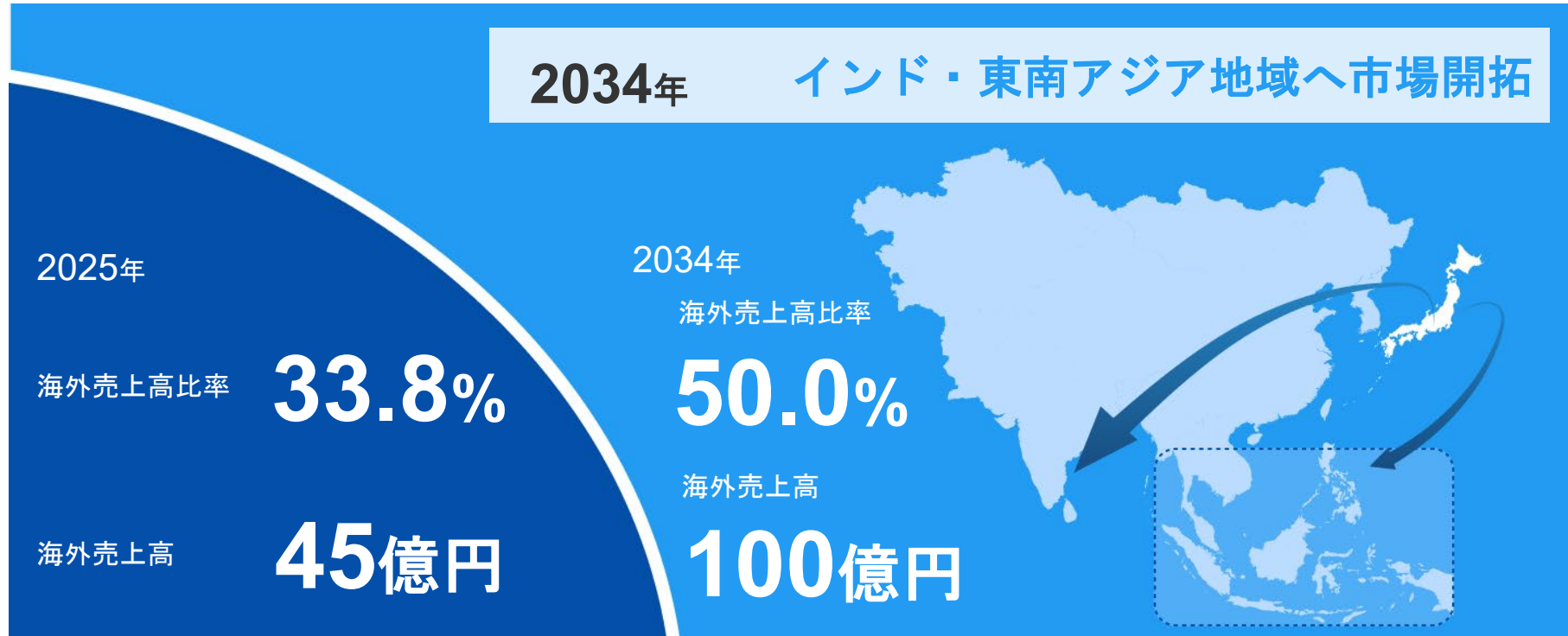
営業利益率 **15%**

2027年経営目標

営業利益 **13**億円

営業利益率 **8%**

国内の実績と高い品質を武器に、高齢人口増が見込まれる海外市場を開拓する



国内市場

- 国内市場は高齢化による安定的な伸び

中国市場

- 中国は医療インフラの高度化で需要増加
- 一方、国・省の集中購買制度により入札価格の抑制、競争激化

インド・東南アジア市場

- インド・東南アジアの市場は急激な拡大
- 今後の急成長に期待

重点施策① 連結グループ増益確保に向けた取り組み

2025年度（1年目）進捗

営業利益率 **7** %

- 事業ポートフォリオは組織の集約化、不採算品目の整理を実施
- 泌尿器製品のサプライチェーンの見直しによるコストダウン策の推進
- グループ会社の製造機能最適化により収益構造モデルを変化させることで長期的・安定的な生産体制を構築
- 原材料や為替による原価高騰を背景に、プライシング策を推進

中期経営計画2027年度目標

営業利益率 **8** %

- 事業ポートフォリオの再構築
- 製品ポートフォリオの強化
 - 泌尿器分野の強化（新製品集中）
 - 不採算品目の整理
- 泌尿器系製品の採算改善、事業継続判断
- 売上増強、原価低減、販管費抑制の推進
- DX・システム化による効率化

重点施策② 海外事業の強化

2025年度（1年目）進捗

海外売上高 **45** 億円

- 海外事業戦略を高める体制強化
- インド販売体制に向けた現地法人設立準備、業務提携の締結、今後、ライセンス追加とエリア拡大により販売製品を拡大する
- 東南アジアは、**タイ・ベトナム・マレーシア**の浸透に向けた市場調査、今後の代理店開拓により新市場開拓を進める

中期経営計画2027年度目標

海外売上高 **57** 億円

- 海外事業戦略室の新設
- 中国市場の販売拡大
- インドの新市場開拓
 - 日本品質、現地ニーズに沿った開発・現地販売体制の構築
- 東南アジアの新市場開拓
 - インドネシア・タイ・マレーシア・ベトナムへ販売展開

重点施策③ 新規事業の立ち上げ

2025年度（1年目）進捗

- 泌尿器・消化器における基盤事業強化に向けたアライアンスの推進
- 新たなヘルスケア領域の探索、M&Aに向けた検討
- その他、新規事業としてアグリの事業の探索

中期経営計画2027年度目標

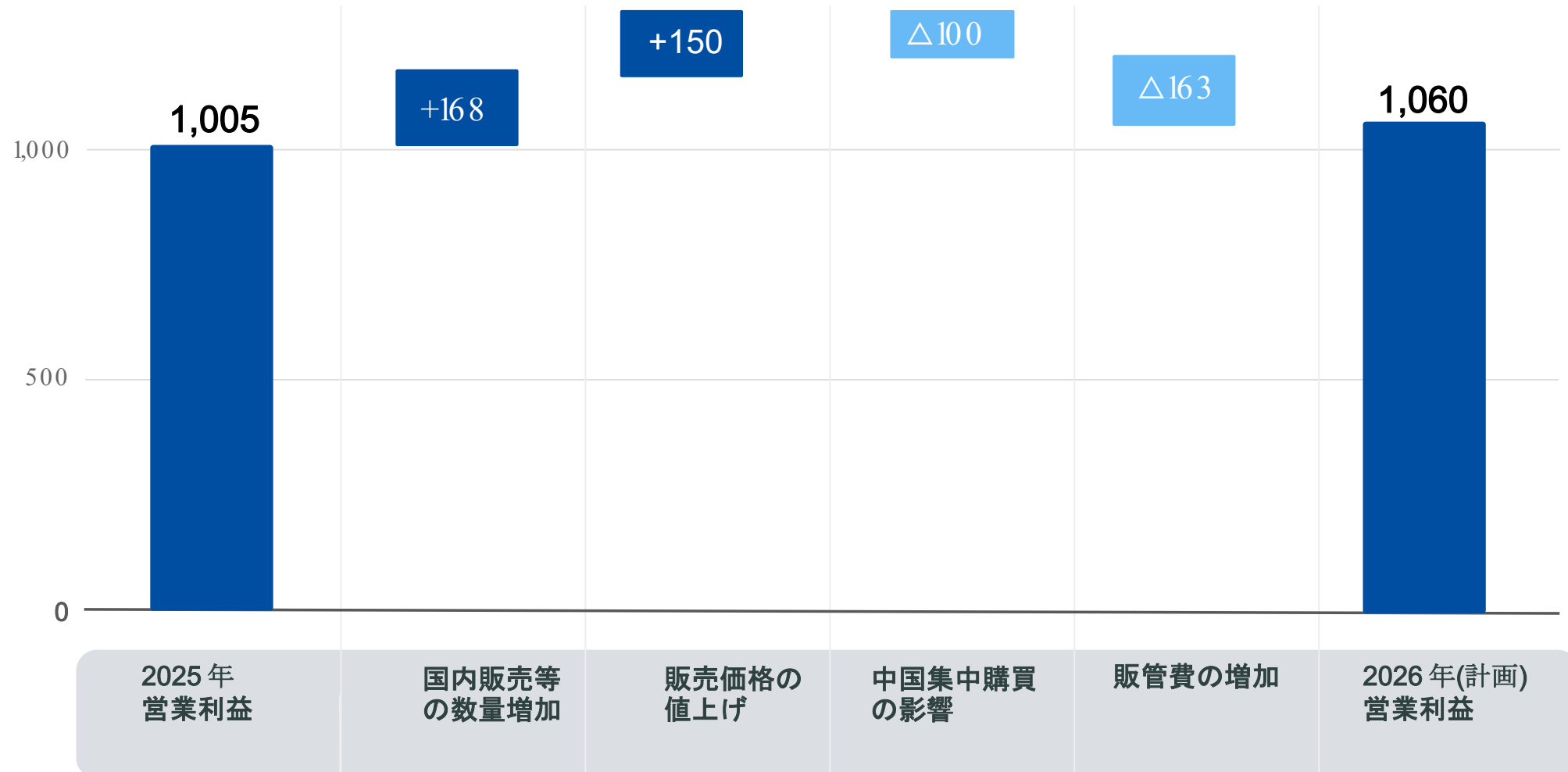
M&Aアライアンスの推進 **2** 件

- 新規事業開発部の新設
- 新規事業の探索 デジタルヘルス
- 体外診断薬
- 介護事業
- M&A・アライアンスの推進

2026年12月期計画 営業利益増減内訳

国内販売を中心とした販売数量増加と販売価格の値上げなどを推進
製造機能の最適化、価格戦略の見直し、徹底したコストダウンを実施
海外はインド・東南アジア市場への展開により、収益基盤を強化

(単位：百万円)



資本コストや株価を意識した経営

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて 業績向上に加え、株主還元およびIR活動の充実を図る

経営指標

重点施策	2025実績	2027目標
営業利益率	7.4%	8.0%
ROE	4.4%	7.0%
資本コスト	5.4%	—
PBR	0.53倍	0.70倍

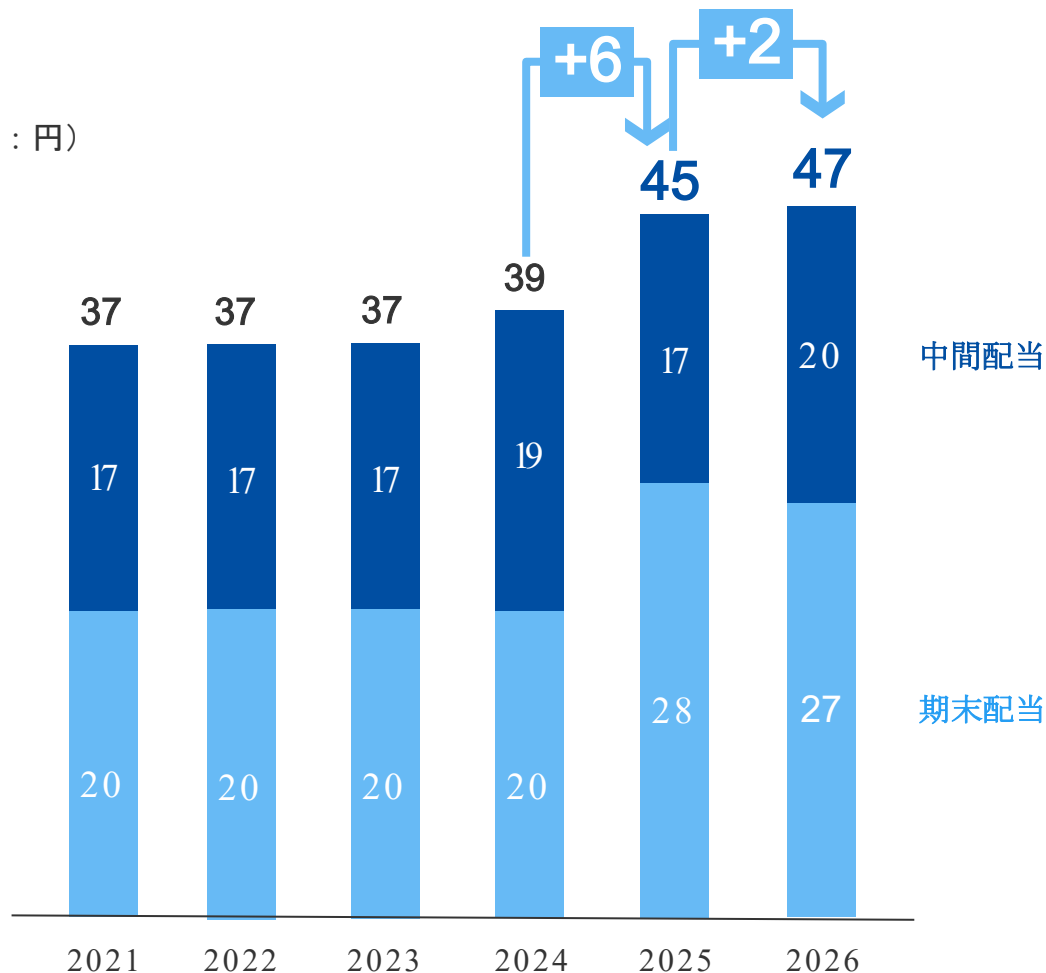
PBR1倍に向けた対応

重点施策	進捗	今後の取り組み
中期経営計画の達成	中期経営企画の推進	将来構想、新経営体制を基に新中期経営計画の追求
売上高純利益率の改善	自社販売の販売価格改定 事業所集約による維持費用の削減	販売価格の改定 原価低減・販管費の抑制
総資産回転率の改善	本社事業所の売却	事業ポートフォリオの再構築 資産効率化、資金の有効活用
企業価値の向上	株主還元として自社株 買い2億円の実施	配当性向50%の維持 IR・情報開示の推進

2026年12月期 株主還元方針の改定

今後はさらなる株主還元の充実として、**連結配当性向50.0%を目安**としつつ、資本政策の指標として中長期的に純資産配当率（DOE）を4%まで引き上げていくことを目指してまいります。また、将来の資本効率性の改善および企業価値向上に向けて**自己株式の取得などの諸施策も機動的に実施**してまいります。

(単位：円)



配当方針

連結配当性向 **50.0** %

2026年度
配当計画

配当予定 **47** 円 (増配2円)

自己株式取得
の方針

長期的な視点では、将来の資本効率性の改善および企業価値向上に向けて自己株式の取得などの諸施策も機動的に実施



将来情報に関する注意事項

当資料に記載されている将来情報は、現時点の見通しに基づくものであり、
予期せぬ事象や経営環境の変化により実際と異なる可能性があります